

令和2年度

ぶん かげいじゆつ こどもいくせいそうごう じぎょう
文化芸術による子供育成総合事業

じゆんかいこうえん じぎょう
— 巡回公演事業 —

しんこくりつげきじやうがっしやうだん
新国立劇場合唱団

がっしやうこうえん
〈合唱公演〉



撮影：三枝近志

ぶん かげいじゆつ こどもいくせいそうごう じぎょう じゆんかいこうえん じぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —」

わ くに いちりゆう ぶん かげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた
ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え こども はっそうりよく
舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション
のうりよく いくせい しょうらい げいじゆつ か いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじやう もくてき
能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的
としています。

じぜん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演
では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

プログラム

■ 校歌演奏 (混声四部合唱)

■ 日本の歌・世界の歌・オペラの世界

日本のうた

* 皆さんが住んでいる日本にはたくさんの素晴らしい曲が歌われています。いつもは何気なく聞いているテレビから流れている曲だけではなく、小さいときに歌った童謡や昔から歌われている唱歌。また地域によっても違いがある民謡。学校生活の中でも歌う機会がたくさんあります。歌詞を読むだけでも色々な発見がありますので、様々な歌に出会い、心を豊かにしてください。

● わらべうた (小倉 朗作曲) 「ほたるこい」

日本のわらべうたとして知られている曲を女声合唱で演奏します。輪唱の形式を基本に取り入れ、全体を三つのパートに分ける「三部合唱」にて演奏します。ほたるがそこで光を発している様子が大変うまく表現されている曲になっています。



● 民謡 (清水 脩作曲) 「そうらん節」

北海道の民謡です。漁師達がかけごえを出し合ってニシンの漁をする様子を歌っています。男声合唱ならではの力強い歌声を聴くことが出来ます。「男声四部合唱」は合唱の響きに厚みが出来て勇壮な漁の様子が表現されています。

● 源田 俊一郎作曲 「ふるさとの四季」

日本には季節ごとにいろいろな特色があり、またその季節毎に様々な歌が歌われています。この曲では日本の四季を通して歌われる日本のうたをメドレーにして歌うことで一年を感じる楽しい合唱です。色々な表現が出来る「混声合唱」で演奏します。

世界の歌

* 日本以外の国々で歌われている歌の一部をご紹介します。日本とは違う歴史や風土、人々の習慣によって、国ごとに特徴のある曲が生まれます。そのような国々を訪れる機会があるときは是非そこに流れる歌に耳を傾けてみて下さい。ここではドイツの曲を取り上げます。

● ベートーヴェン作曲 「交響曲第九番」より第四楽章

ベートーヴェンはドイツで生まれた作曲家です。「運命」という五番目に作曲された交響曲は、よく知られていますがその他にも優れた作品が多く、日本では年の暮れに演奏される交響曲第九番は「歓喜のうた」と言われ、喜びをたからかに歌いあげます。



オペラの世界

*オペラという言葉はイタリア語で、日本語にすると「歌劇」といいます。歌いながら芝居をしたり踊ったりもします。台詞を歌で歌いながら、お話が進んでいきます。歌や芝居、踊り、オーケストラ、舞台の大道具や装置、衣裳や、照明などいろいろなことを舞台で行います。合唱団のメンバーは農民や貴族、狩人や町の人々など様々な役を演じます。

●ワーグナー作曲 「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱

ワーグナーは神話に基づいたオペラをいくつも作曲しました。この作品では神の罰で海をさまよう幽霊船の船長のオランダ人が現れます。このオペラの中では不気味な船乗りの合唱の部分などにも有名ですが、この曲はその中でも一転して楽しい雰囲気を感じさせる内容で、船乗りたちの帰りを待ち焦がれる娘たちが糸を紡ぎながら歌います。くるくる糸車を回す様子を聞くことができます。ドイツ語で歌います。

●ウェーバー作曲 「魔弾の射手」より 狩人の合唱

魔弾というのは「魔法の弾丸」、猟銃の弾のことです。射手は撃つ人、つまり「魔弾の射手」は「魔法の弾を撃つ人」という意味です。村一番の狩人を決める射撃大会の日、狩人たちが狩の素晴らしさをたたえて勇壮に歌います。ドイツ語で歌います。

●ビゼー作曲 「カルメン」より 行進曲と合唱

美女カルメンをめぐる物語です。人気者の闘牛士エスカミーリオが登場する闘牛の試合の日、広場に集まってくる市民たちがこれから始まる試合を楽しみに歌います。ぞくぞくと集まってくる闘牛士たちに手を振って出迎えます。フランス語で歌います。

■学校との合同演奏

学校校歌、学校希望曲など

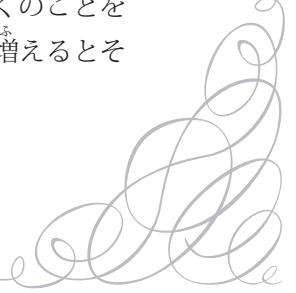
皆さんが学校で歌っている曲を私たち新国立劇場合唱団と歌いましょう。わからないことは近くに

いる新国立劇場合唱団の合唱メンバーに歌い方を教えてもらってください。
ワークショップでお話ししたことを覚えていませんか？肩に力が入らないようにしていい姿勢で立ってください。そしてたくさん息を吸うときにも力が入りすぎないように注意してください。遠くにいる人に向かって頭の後ろから投げするような気持ちで声を出しましょう。

校歌を歌う場合は、歌詞の内容を今一度思い出してみてください。そして自分の教室、友達や先生などを思いながら歌うことがあってもいいと思います。

合唱は、一人ではなく大人数で歌う共同作業です。一人で何かすることより、より多くのことを表現する音が出ます。一人でやることより工夫が必要になりますが、歌う人が一人でも増えるとその分だけ、楽しいことを分け合うことができます。

いい顔をすることを忘れないでくださいね。



新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始した。メンバーは100名を超え、新国立劇場が上演する多彩なオペラ公演により年々レパートリーを増やしている。個々のメンバーは高水準の歌唱力と演技力を有しており、合唱団としての優れたアンサンブル能力と豊かな声量は、公演ごとに共演する出演者、指揮者、演出家・スタッフはもとより、国内外のメディアからも高い評価を得ている。2007年より、新国立劇場で上演される通常のシーズン公演の出演に加え、劇場外からの出演依頼の声にこたえて外部公演への出演を開始。コンサートではNHK交響楽団をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、紀尾井シンフォニーエッタ、オーケストラ・アンサンブル金沢などの国内主要オーケストラと共演。海外のオーケストラとはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、マリインスキー歌劇場管弦楽団、トリノ王立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演を果たした。また東京文化会館、東京オペラシティ、東京芸術劇場、横浜みなとみらいといった国内のホールからの出演依頼、毎年1月3日の「NHKニューイヤーオペラコンサート」の出演、文化庁委託事業「文化芸術による子供育成総合事業」での学校巡回公演など、幅広く活動の場を広げている。

指揮：富平恭平

ピアノ：矢崎貴子

本講演日程

実施月日	曜日	実施校
2021年1月13日	水	北区立岩淵小学校
2021年1月15日	金	多摩市立南鶴牧小学校
2021年1月21日	木	八王子市立船田小学校

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。